



2020年度 展示年間スケジュール

春の
特別展

「潤一郎の美術展～文豪ゆかりの「美」に浸る～」

会期 2020年6月2日(火)～6月7日(日)

「耽美派」といわれた文豪、谷崎潤一郎。その美意識・審美眼は、やはりこだわり深くユニークなものだった。谷崎じしんのお気に入りだった、またその作品世界に関わる絵画・美術品からは、そんな文豪の美への視線がおのずと浮き上がってくるだろう。特別展では、谷崎ゆかりの数多くの名画・名品を贅沢に展示、様々な角度から文豪の美の世界に迫る。



棟方志功「菜果図」

夏の
特設展

「大谷崎と文豪たち」

会期 2020年6月13日(土)～9月6日(日)



昭和14年4月24日、谷崎の娘鮎子と佐藤春夫の甥竹田龍児の結婚式。媒酌人は泉鏡花。(新郎の横に鏡花、前列右端に谷崎夫妻、2列目左から3人目佐藤)

谷崎はさまざまな文豪たちと交流し、創作の糧とした。明治の出発期には、泉鏡花の存在や作風に影響を受け、永井荷風からの称賛を受け文壇デビューを飾った。また、白樺派の志賀直哉や武者小路実篤とは、晩年まで交友関係を築いた。大正期には、芥川、佐藤春夫らと親交を深める中、妻をめぐる佐藤と対立するのだった。こうした、文豪同士の交流や影響関係を、当館所蔵の資料から紹介する。

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。

秋の
特別展

「タブー～発禁の誘惑～」

会期 2020年9月12日(土)～12月6日(日)

日本の近代文学を代表する文豪・谷崎潤一郎。その生涯は80年にも及び、作家としてのキャリアも半世紀をこえる。その間、時々の歴史と社会のタブーと、しばしば危うい摩擦を引き起こしている。そして時には、発禁の憂き目に遭いながらも、歴史の荒波と日本社会の転変を、物書きとして見事に掻いぐり生き延びてきた。特別展では、表現者ならば誰しもが直面するタブーとのジレンマ「発禁の誘惑」への、谷崎独特の絶妙の距離感を浮き彫りにしていく。



「細雪」第1回・第2回が掲載された戦時下の『中央公論』。以降は「発禁」あつかいとされ掲載中断となった。